

「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

令和元年 8月19日

千葉県農林水産部

生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。
調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

1 生育状況

7月上中旬は、平均気温、日照時間ともに平年を下回りましたが、7月29日に梅雨明けした後は、平均気温、日照時間は平年を上回り、降水量は少なくなりました。

8月8日時点の作況調査は及び落花生研究室のは場では、7月上中旬の気温や日照の影響により、さや数は平年を下回っています。

表1 作況調査成績（8月8日調査）※対比は平年比

品種名	年次	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
千葉半立 〔調査区の平均 は種日5月31日〕	本年	7/17	1,009	199	20	59	6	25
	平年	7/10	2,442	389	83	256	43	41
	対比	+7	41%	51%	24%	23%	14%	62%
ナカテユタカ 〔調査区の平均 は種日5月21日〕	本年	7/3	2,329	444	149	439	81	38
	平年	7/3	2,474	439	184	678	118	42
	対比	±0	94%	101%	81%	65%	69%	91%
おおまさり 〔調査区の平均 は種日5月29日〕	本年	7/8	1,237	249	44	62	16	41
	平年	7/5	2,032	349	69	289	51	53
	対比	+3	61%	71%	64%	21%	31%	77%
千葉P114号 (Qなっつ) 〔調査区の平均 は種日6月4日〕	本年	7/14	1,230	235	58	177	22	31
	平年	7/9	2,231	354	154	542	87	47
	対比	+5	55%	66%	38%	33%	25%	65%

* 本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・君津地区、「おおまさり」は千葉・印旛・君津地区、「千葉P114号」は千葉・印旛・香取・長生地区。

* 平年値は、平成24年から30年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「千葉P114号」のみ平成28年から30年（3年間）の平均。

* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

* 開花期は、40～50%の株に1輪でも花が咲き始めた日。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、8月8日調査)

は種日	品種名	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
5月20日 (標播)	千葉半立	7/1	2,324 (90%)	423 (84%)	68 (37%)	156 (26%)	21 (21%)	40 (110%)
	ナカテユタカ	6/29	1,461 (75%)	315 (78%)	126 (51%)	343 (43%)	50 (33%)	32 (89%)
	おおまさり	6/28	634 (33%)	241 (58%)	61 (43%)	232 (36%)	28 (31%)	46 (84%)
	千葉P114号 (Qなっつ)	6/30	1,531 (79%)	290 (76%)	125 (58%)	367 (52%)	53 (38%)	35 (85%)
6月12日 (晩播)	千葉半立	7/21	1,164 (48%)	244 (64%)	2 (4%)	4 (2%)	1 (4%)	27 (83%)
	ナカテユタカ	7/19	978 (43%)	203 (56%)	24 (20%)	57 (16%)	6 (15%)	23 (60%)
	おおまさり	7/19	419 (23%)	171 (54%)	3 (9%)	4 (4%)	1 (8%)	37 (67%)
	千葉P114号 (Qなっつ)	7/21	1,043 (57%)	205 (64%)	17 (14%)	35 (9%)	4 (9%)	27 (68%)

* 落花生研究室の栽植密度は、「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「千葉P114号」は5,128株/10a、「おおまさり」は2,564株/10a。カッコ内は、平成28~30年の平均値対比を示す。

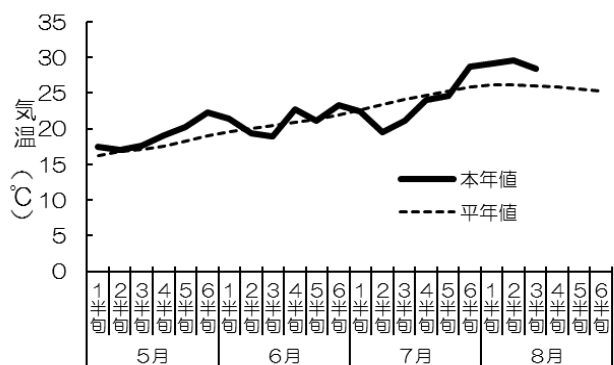


図1 気温の推移(アメダス、佐倉)

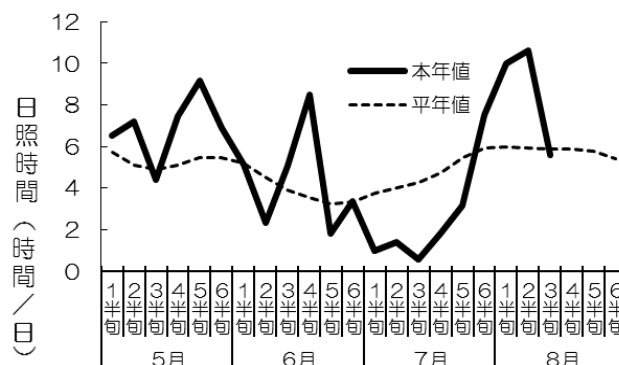


図2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

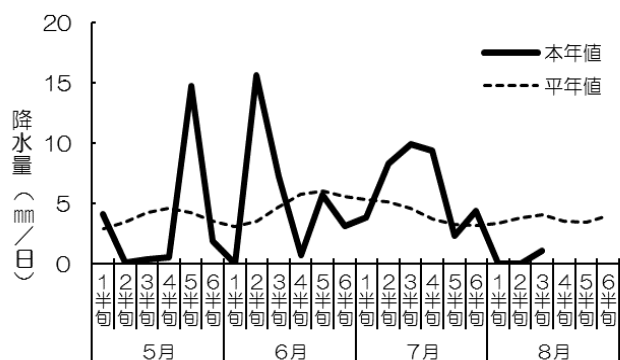


図3 降水量の推移(アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 病虫害防除について

今後、特に白絹病、茎腐病に注意が必要です。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。

白絹病が発生している場合は、被害株を表土と一緒にほ場から持ち出し、病気の拡大を防ぐとともに、次年度の病害予防のためにはほ場の菌密度を減らしましょう。

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。(フロンサイド粉剤は収穫 45 日前までの使用。例えば、10月10日に収穫する場合は、8月26日まで使用。)

薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従って行ってください。

表3 防除薬剤

病害名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
褐斑病	トップジンM水和剤 ダコニール 1000	1,500～2,000 倍 500 倍	収穫 7 日前まで／4 回 収穫 14 日前まで／4 回
白絹病	フロンサイド粉剤	10a 当たり 20 kg	収穫 45 日前まで／1 回
茎腐病	トップジンM水和剤	1,500 倍	収穫 7 日前まで／4 回
黒渋病	トップジンM水和剤	1,500～2,000 倍	収穫 7 日前まで／4 回



褐斑病



白絹病



茎腐病



黒渋病

(2) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。今年は開花期が遅れたため、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。砂地の地域では収穫時期が早まるので、早めに試し掘りをしてください。

「千葉 P114 号 (Qなっつ)」は掘り遅れると食味が低下し、落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表4 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさり	千葉 P114 号
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後 (ゆで莢用)	80日後

表5 落花生研究室 (八街市・マルチ栽培) での収穫期目安

	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月20日	7月1日 (+1日)	10月4日
	6月12日	7月21日 (+6日)	10月24日
ナカテユタカ	5月20日	6月29日 (+1日)	9月17日
	6月12日	7月19日 (+5日)	10月7日
おおまさり	5月20日	6月28日 (+1日)	9月21日
	6月12日	7月19日 (+5日)	10月12日
千葉 P114 号	5月20日	6月30日 (+2日)	9月18日
	6月12日	7月21日 (+6日)	10月9日

*開花期の()内は、平年差。

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「千葉 P114 号」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方 法>

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(3) 台風対策

栽培期間中に台風が接近した場合は、以下の対策をしましょう。

ア 栽培中及び乾燥中ともに冠水しないように排水路を整備する。

イ 台風後に黒渋病が発生しやすいので、よく観察し、必要に応じて表3を参考に殺菌剤を散布する。